

エアーラインキット

AL-982

取扱説明書

OM-K0193 001

このたびは、本製品をお買い求め頂きまして、誠にありがとうございます。本製品は、コントロールユニットまたは、スピンドルなどにクリーンなエアーを供給することができるエアーラインキットです。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読み頂き、末永くご愛用くだされば幸いです。

1. 安全上の注意事項・表示について

- 使用前に必ずこの安全上の注意をよくお読み頂き、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全にお使い頂き、あなたや他の人への危害や損害を未然に防止するものです。危害や損害の大きさと切迫の程度に分類しています。いずれも安全に関する内容ですから、必ずお守りください。

注意区分	危害や損害の大きさと切迫の程度
⚠ 警 告	「人が損害を負ったり、物的損害の発生がある注意事項」を説明しています。
⚠ 注 意	「軽傷または中程度の傷害、または、物的損害が発生する可能性がある注意事項」を説明しています。

⚠ 警 告

- ① 取り扱いについて
十分な知識と経験を持った人が取り扱ってください。圧縮空気は、取り扱いを誤ると危険です。空気圧機器を使用した機械・装置の組立や操作、メンテナンス等、十分な知識と経験を持った人がおこなってください。
- ② 流体の種類について
使用流体は圧縮空気を使用してください。圧縮空気圧力は、1次側 **1.0MPa** 以下、2次側 **0.6MPa** 以下で使用してください。
- ③ 圧縮空気の注意
化学薬品、有機溶剤を含有する合成油、塩分、腐食性ガス等を含む圧縮空気は、使用しないでください。破損や作動不良の原因となります。
- ④ ホースの接続
ホースの接続は、確実におこなってください。使用中、ホースが外れるとホースがあばれ、大変危険です。エアー配管用ホースの常用使用圧力は、**1.0MPa** 以下となっています。コンプレッサの作動圧力が **1.0MPa** 以下であることを確認してから接続してください。コンプレッサの作動圧力が **1.0MPa** を超える場合、ホースが破裂する恐れがあり大変危険です。十分注意してください。

⚠ 注 意

- ① ドレンが多量の場合
ドレンを多量に含んだ圧縮空気は、空気圧機器の作動不良の原因となります。エアーラインキットにはフィルタが付いていますが、湿気の多い時期や場所によって別のフィルタまたはエアドライヤーがないと能力不足になり、故障の原因になることがありますので、できるだけ大きな容量のフィルタ（市販品）またはエアドライヤー（市販品）を、エアーラインキットの1次側の近い場所に取り付けてください。
- ② ドレン抜きについて
フィルタのドレン抜きは定期的におこなってください。フィルタのドレン抜きを忘れると、ドレンが2次側に流出して空気圧機器の作動不良を招きます。
- ③ 設置について
しっかりと安定した水平な位置に置いてください。
- ④ 取り扱いについて
清掃でエアーフィルタのプラスチックボール等を外す場合は、破損させないように取り扱いに十分注意してください。

⚠ 使用環境における注意事項

- ① 腐食性ガス、化学薬品、海水、水、水蒸気の雰囲気または装置に付着する場所では使用しないでください。
- ② 直射日光の当たる場所では、日光を遮断してください。
- ③ 振動または衝撃の起こる場所では使用しないでください。
- ④ 周囲に熱源があり、輻射熱を受ける場所では使用しないでください。

2. 特 長

- ① コントロールユニットまたは、スピンドル等にクリーンなエアーを供給します。
- ② 圧縮空気中の不純物をフィルタで除去し、クリーンなエアーを供給します。
- ③ 圧力の調整が自由にできます。
- ④ 使いやすく、小型で軽量タイプです。
- ⑤ 持ち運びやすい取手付きです。

3. 仕様

1 次 側 圧 力	1.0MPa 以下
最 高 使 用 圧 力	0.6MPa
耐 圧	1.5MPa
使 用 温 度 範 囲	5 ～ 65℃
ろ 過 度	0.3μm
設 定 圧 力	0.04 ～ 0.6MPa
リ リ ー フ 圧 力	設定圧力プラス 0.05MPa
寸 法	W300 × D220 × H195 (mm)
質 量	2.5kg

標準付属品

・配管用ホース (2m) ・ ・ 1 本

・取扱説明書 ・ ・ 1 部

4. 各部の名称および取付方法

- ① 付属の配管用ホースをエアフィルタの1次側のジョイントに接続してください。(図 - 1)
- ② 2次側のジョイントは、φ6mm エアホース用です。使用機器と接続してください。(図 - 1)

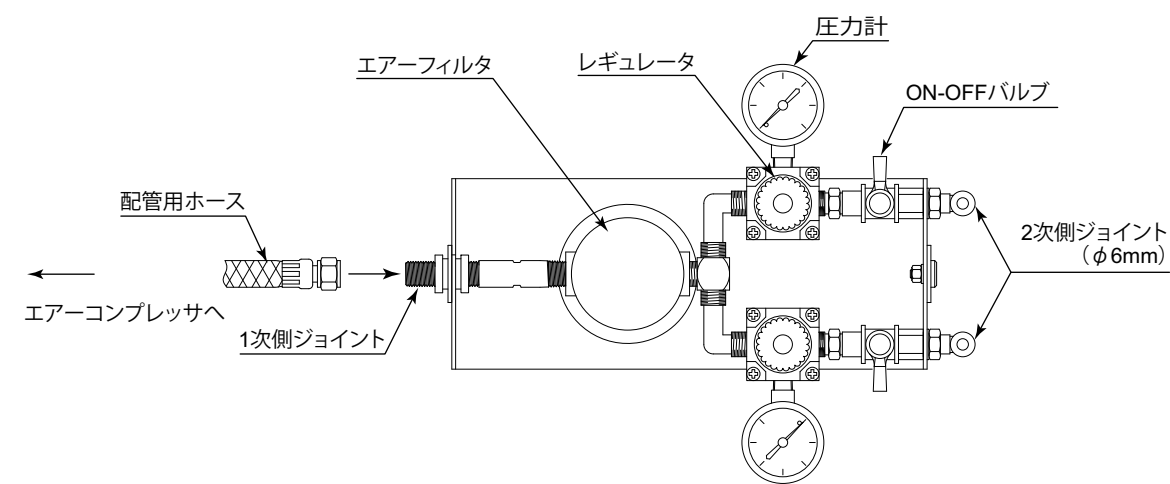


図 - 1

5. 各部の使用説明

- ① エアフィルタ
圧縮空気のダストや水分を分離し、分離されたドレンはプラスチックボール内に溜まります。ドレンが溜まったときは、エアフィルタの底の排水ボタンを指で左右に押して排水してください。(図 - 2)
- ② レギュレータ
空気圧調整は、レギュレータ上部の圧力調整ノブを引き上げ、時計方向に回すことにより設定圧力が高くなりますので、圧力計を見ながら適性圧力に調整してください。(図 - 3)

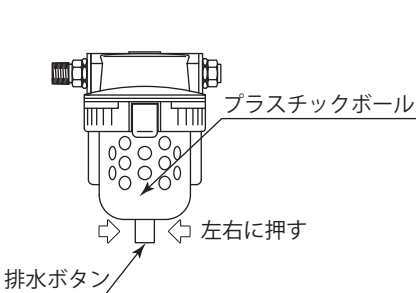


図 - 2

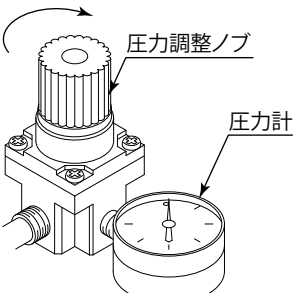


図 - 3

- ③ 圧力計
空気圧を確認してください。(図 - 4)
- ④ ON-OFF バルブ
ON-OFF バルブは、レバーを 90° 回転することによりエアの開閉ができます。(図 - 5)



図 - 4

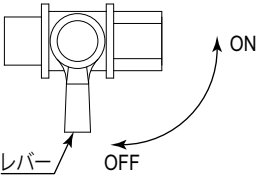


図 - 5

6. 故障と対策

故障かな・・・？と思ったら、修理を依頼する前にもう一度、次のようなチェックをお願いします。

症 状	対 策
ホースの破損。	ホースを交換してください。
エアが流れていない。	コンプレッサの電源・エア出口の点検をしてください。
	ホースの破れ、抜け、つぶれ等がないか点検してください。
	レギュレータの空気圧調整ノブの点検。 (閉じていませんか) → 適正空気圧に調整してください。 ホースの接続方法を点検してください。
	ON-OFF バルブが OFF になっている→ ON 側にしてください。
エア洩れ。	接続部を点検してネジ部等を締め直してください。
空気圧不足。	コンプレッサ、空気回路、レギュレータの点検をしてください。
エアフィルタ内にドレンが溜まっている。	エアフィルタ内のドレン抜きをしてください。

※仕様及び形状等は予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

株式会社 **ナカニシ**
www.nakanishi-inc.com

本社・工場
〒322-8666 栃木県鹿沼市下日向700
TEL:0289(64)3280 FAX:0289(62)1135

東京事務所
〒110-0005 東京都台東区上野1-13-3
TEL:03(3835)2891 FAX:03(3835)4332